

第六回 こども教育サポート賞 受賞紹介

朝読書ボランティア

「子どもたちの

豊かな感性を育む地域の取組み」

「朝読書ボランティア」事務局代表 小島 栄 子

四万十市を中心に活動している「朝読書ボランティア」の団体は、地域の子どもたちに読み聞かせ活動を通じ、豊かな感性を育むことや、地域の子どもたちと関わりながら、共に子どもたちの成長を見守ることを主な狙いとし、平成十五年三月より、有志四名で中村中学校への読み聞かせボランティアを始めました。

月一回の朝読書の読み聞かせ活動は、こども達や教員にも



朝読書風景 (1)



朝読書風景 (2)

好評で、他校からも取組みの依頼を受けるようになりました。それに伴い活動に携わる人数も徐々に増え、

現在約30名を超える組織となりました。また、近年は広範囲の地域が対象となり、いくつかのグループに分かれ活動しています。

現在、四万十市内でボランティアが関わっている学校は、中村・東山・具同・中村南・下田・東中筋・大用・利岡・中筋の各小学校、中村・八束・蕨岡・下田・後川の各中学校の一四校を数えます。

子どもたちが、本に興味を持つ読み方、題材の選定・提示方法等、各自が工夫することは勿論のこと、実施後の反省会を通じて参加者がお互いに話し合い、子どもの目線に立った取組みを継続させるべく活動しています。

また、実施後は子どもたちに意見を募り、活動の点検をすることを続けています。今年度から、放課後の「学び場応援事業」の活動にも関わっています。

このような取組みの中で、「朝読書ボランティア」活動は、四万十市の読書活動推進の一翼を担い、学校・地域連携の取組みの推進に大きく寄与しています。

活動を通じて、子どもたちの様子を知り、地域から子どもを見守る役割を果たすという当初の理念は、学校をサポートし共に子どもを育てる始点に立った協働的な活動として四万十市に根付いています。

(四万十市教育委員会推薦)

「朝倉夜間中学の取組み」

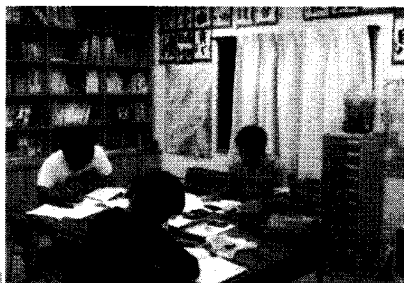
「ここを癒せる場として」

代表 山下 實

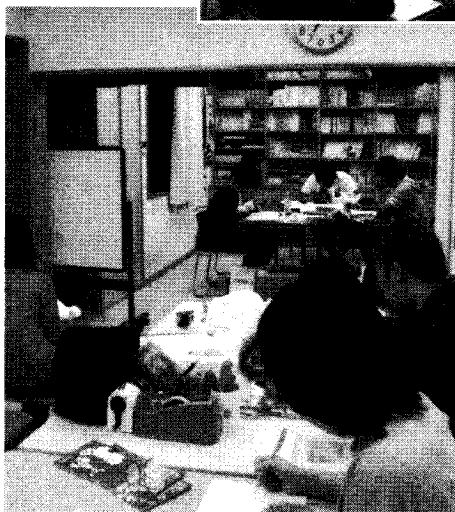
朝倉夜間中学校は、平成十年四月二十日に、山下實氏を中心にボランティア組織として開設され、以来十三年間にわたり無償で運営されてきた。

学習については、月曜日から金曜日まで週五日間、午後六時から九時までの三時間、学習時間を確保し、重い障害で就学猶予の人や、不登校の生徒を受け入れ、勉学に励んでいる。現在「朝倉夜間中学校」は、公設民営方式で、「夜間中学」「高知市教育研究所朝倉教室」として運営されている。

平成二十年には、十周年を迎え、この間の取組みを記念誌として発刊した。この記事の中で、不登校の中



授業風景



学生や高等学校を断念しながら再チャレンジした社会人等約二〇〇名が、入学後「ここでやり直せた」と熱く語っている。また、高等学校に再挑戦して、高等学校入学を果たせた生徒は五十名(平成20年3月現在)に登っている。さらに、平成二十一年三月には、四名が合格、平成二十二年三月には六名が合格している。

「不登校の生徒」や「過年度生」が夜間中学校で再度学びに挑戦し、学ぶことを通して自己実現を図り、将来を展望することが出来る、貴重な実践の場となっている。

(高知市教育委員会推薦)

「自然の大切さを学ぶ」

子どもたちの健やかな成長を願って

代表 隅田俊佑

隅田さんは、平成十六年から、ボランティア団体「あかいこの会」の代表として、商工会・社会福祉協議会・教育委員会等と連携し、町内外の子どもたちの自然体験（木工教室・間伐体験・自然教室・飯盒炊飯等）イベントを実施している。会場は、隅田さん所有の山小屋およびその周辺を提供している。（参加者は、町内外から親子連れで、平成二十年には九十名参加のイベントも実施。）

また、公益社団法人「高知県森と緑の会」が主催の「こうち山の一日先生派遣事業」（平成18年）では、町内外の学校へ出向き、講師として児童生徒へ山や自然の大切さを教える活動（木工教室・しいたけ栽培・たこ作り等）に継続して取り組んでいる。その活動の中で、子どもたちは自然の中で遊ぶことを覚え、自然の大切さに気付くきっかけを作ることが出来ている。



21年度 葉山小5年生
通学合宿体験コーナー



自然体験 こうち山の日にあわせて

他にも、長年にわたり地元の小中学校へ積極的に関わっている。葉山小学校では、総合的な学習の時間などを活用し、山小屋で森林学習や木工体験を実施すること

が恒例となっている。

さらに、学校地域支援本部事業におけるコーディネーターとして、小学校の樹木のせん定等の環境整備では、中心となりボランティアへ呼びかけ環境美化に務めるなど、様々な活動を行なっている。

◇平成二十年度「こうち山の一日先生派遣事業」における主な活動

・「ふれあい自然体験パート6」（11月15日）

場所：津野町姫野々 参加者：三五名

・木工品の作成

場所：須崎市立上分小学校

参加者：15、4、6年生

◇平成21年度 葉山小学校における活動

・森林の話と竹笛作り（6月19日 5年生）

・学校前庭の植木せん定（9月19日）

・木工教室「卒業記念本立て作り」（1月14日 6年生）

・昔遊び道具作り（1月22日 3年生）

◇地元小学校の「開かれた学校づくり」を支援（平成12年～現在）

◇ラジオ体操実施のお世話

平成十年から現在まで、近隣の高齢者とのラジオ体操のお

世話役を継続実施（夏休みは子どもも参加）

◇津野町社会教育委員に委嘱される（平成19年～現在）

◇津野町学校教育審議会委員に委嘱される（平成19年～現在）

◇他県の合宿体験の受け入れ・世話役（行政「あかいこの会」

と連携（平成18年～19年）

（津野町教育委員会推薦）